

やまがた認知症カフェ通信 2018 1月号



平成30年1月15日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

特集 カフェで実践する新オレンジプラン⑤ 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

山形県では、認知症の人と家族にやさしい地域づくりに取り組んでいます！

「認知症カフェで実践する新オレンジプラン」として、7月号では「医療・介護等」について特集しましたが、今回は、プランの第5の柱「認知症など高齢者にやさしい地域づくり」についてご紹介します。新オレンジプランでは、「認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進」のため、生活支援や就労・社会参加支援、交通安全の確保、見守り体制の整備等を掲げています。県では、「見守り」の役割が期待される認知症サポーターの養成や、介護事業所を地域における認知症ケアの拠点とする取組みを進めています。認知症カフェの普及もそのひとつですが、こちらについては、次号で第4の柱「介護者支援」を紹介する際に触れたいと思います。



▲新オレンジプランの7つの柱

さくらんぼカフェが行っている「出張交流会」も、やさしい地域づくりを実現するための取組みのひとつです。出張交流会の目的は、認知症に関する相談の機会や、当事者・ご家族等の交流の機会を広く創り出すことです。今年度は12月までに、最上地域で5回、置賜地域で5回、庄内地域で5回開催し、計324人の方からご参加いただきました。特に、10月・11月は認知症カフェが未設置の自治体での出張交流会を行い、若年性認知症の当事者の方や、認知症カフェを運営している方から講演をしていただきました。参加人数が少ない会であっても、参加者の方自らが思いを語り合い、共有する時間を過ごすことができ、また、「出張交流会を機に初めて自分の思いを話すことができた」という方もいらっしゃったことから、こうした「機会」の重要性を改めて感じたところです。

新年を迎え、1月以降は庄内地域での出張交流会を予定しています。さくらんぼカフェでは、「私の地域にも出張交流会に来てほしい！」という皆さまからのお声をお待ちしております。

＜7つの柱V「認知症など高齢者にやさしい地域づくり」のために認知症カフェでできること＞

●まずは、自分たちの「認知症カフェ」の地域における役割を確認してみよう！

→認知症カフェの役割は、地域の特色によって様々です。当事者・ご家族が気軽に相談できる場であったり、地域住民が認知症ケアについて知る場であったり…。それぞれの地域で「やさしい地域」を実現するために、自分たちの認知症カフェが果たすべき役割とはなにか、見つめ直してみましょう。

●身近な「地域の仲間」を探してみよう！

→やさしい地域づくりは、認知症カフェだけではなく、地域の様々な人や機関の協力があってこそ実現するものです。認知症サポーター、認知症地域支援推進員、専門職、ボランティアの方々や、地域包括支援センター、近隣の介護事業所など、身近な人・機関と連携し、やさしい地域づくりに取り組む仲間を増やしてみませんか。

さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

7年目を迎えた「なのはな」のこの一年～若年性認知症のご本人・ご家族と支援者でつくるつどい～



▲干支（戌）の張り子のお面

昨年も、月に1回のつどい「なのはな」は、若年性認知症のご本人・ご家族・支援者が参加するかたちで開催することができました。山形大学医学部附属病院の林先生、小林先生や、福島医科大学の川勝先生から、ご多忙である中、認知症治療の現状や、ご本人・ご家族の不安や疑問などに対してお話をいただきました。また、若宮病院での開催回では、薬剤師の小柳氏より、分かっているようで分からない服薬の話をしていただきましたが、毎日の生活に非常に役立つ内容でした。活性化活動としては、臨床アートの体験会などを実施。また、この一年の締めくくりとして、張り子のお面づくりをしました。来年も良い年が迎えられよう、願いを込めて作りました。

子供と高齢者が共生できる町を！

庄内町認知症地域支援推進員(主任介護支援専門員)
庄内町地域包括支援センター

門脇 俊宏 (かどわき としひろ) さん ー庄内町ー

認知症地域支援推進員として活動を始め、実際、何をどうして良いのか、推進員として何かできているのか、不安の中、活動しております。庄内町では、認知症カフェも2年目に入り、前年度の反省も踏まえ、今年度はまずは地域の方々へ、地域の介護事業所がどういったところなのか知ってもらいたいという願いのもと、地域密着型の事業所で認知症カフェを開催してみました。民生委員の方や小学生の参加もありました。やはり、高齢者は子供と触れ合うことで素敵な笑顔が溢れると感じました。しかし、認知症の方・その家族の参加はなかなか無いのが現状であり、地域の課題のひとつであると考えております。

今後は地域とも連携し、参加してもらいたい方が参加しやすい場所での開催として、スーパーや金融機関の店頭での開催や、地域密着型の利用者様を、カフェスタッフ・店員として派遣してもらえようようなカフェの開催を模索しているところです。また、カフェや認知症地域支援推進員について、普及啓発を行っていきたくと考えております。

また、プライベートで中学生に部活動の指導もしており、中学生と関わることも多いので、地域の小中学生への普及啓発も行い、指導する生徒とカフェ等が開催できればいいなとも考えております。



インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

認知症サポーター・フォローアップ講座

社会福祉法人天童福祉厚生会 特別養護老人ホーム明幸園では、認知症サポーターのスキルアップ事業を行っています。認知症サポーターの方や認知症の人を支える活動に関心のある方は、お問い合わせしてみてください。参加料は無料です。

●日時と内容

2月17日(土) 実践ロールプレイ

3月17日(土) ワークショップ

※いずれも13時から14時30分まで

●対象

認知症サポーターおよび認知症の人を支える活動に関心のある方

●場所 明幸園地域交流スペース(天童市大字矢野目150番地)

●申込先 明幸園地域支援室

☎023-653-3071



カフェ情報

ホットさろん(金山町)

■ 日時:2月15日(木)、3月15日(木)
10:00~11:30

■ 場所:町立金山診療所4階談話室

■ 内容:

2月15日(木)

・高齢者・介護者の相談会

・介護教室「排泄のお話」

・ケア用品とケアの方法

3月15日(木)

・高齢者・介護者の相談会

・介護教室

「お口の健康で全身元気に」

・歯科衛生士さんのお話

■ 問合せ先:

金山町地域包括支援センター

☎ 0237-52-3035

発行元:山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)

電話・来所相談・カフェオープン月曜~金曜日 昼12時~午後4時

TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。